

病院

1億1,796万円の赤字

電子カルテシステムの導入などに5億2,285万円

問合せ 川西病院経営企画課 ☎(794)2321

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表1の通り。事業収益（収入）が56億146万円、事業費用（支出）が57億1,942万円で、収支差し引き1億1,796万円の純損失となり、累積欠損金は62億6,831万円となりました。

また、資本的収支（医療機器購入費や施設整備などの経費とその財源）は、収入が11億4,180万円、支出が11億8,627万円。収支不足額4,447万円は、一時借入金で措置しました。

財政状態は表2の通り。

28年度の病院延べ患者数は、入院患者が6万9,794人、外来患者が11万964人となりました。28年度の収益は、整形外科医師の複数配置や、休床中病棟の再開などによる充実した診療体制を維持。開業医との連携強化、救急搬送患者の積極的受け入れなどにより、患者数が増加。診療報酬改定の影響があったものの、前年度を上回りました。

費用については、給与費や経費の抑制に努め、前年度決算と比較し、赤字額を1億4,841万円減少。しかし、27年度に策定した市立川西病院経営健全化計画の28年度計画値には届かない結果となりました。

29年3月に市立川西病院事業新経営改革プランを策定。病院機能の見直しや経営の改革に取り組み、引き続き、急性期病院として安全・安心で良質な医療を提供します。また、経営健全化計画の目標値の達成に向け、地域から信頼される地域医療支援病院の役割を担う病院事業を展開します。

表1 28年度病院事業損益計算書

(28年4月1日～29年3月31日)

支 出		収 入	
人 件 費	33億6,376万円	入 院 収 益	32億 619万円
材 料 費	9億2,970万円	外 来 収 益	11億1,263万円
経 費	10億4,970万円	他会計負担金 および交付金	9億5,224万円
減 価 償 却 費	1億6,708万円	長 期 前 受 金 戻 入	1億 770万円
支 払 利 息	1,199万円	そ の 他 の 収 入	2億2,270万円
そ の 他 の 支 出	1億9,519万円	特 別 利 益	—
特 別 損 失	200万円	小 計	56億 146万円
小 計	57億1,942万円	小 計	56億 146万円
当 年 度 純 利 益	—	当 年 度 純 損 失	1億1,796万円
合 計	57億1,942万円	合 計	57億1,942万円

表2 28年度病院事業貸借対照表

(29年3月31日現在)

借 方	貸 方
土地、建物、器械備品、投資など固定資産 28億7,490万円	企業債、他会計借入金、退職給付引当金など固定負債 53億9,768万円
	一時借入金、未払金、賞与等引当金、預り金など流動負債 16億5,483万円
	繰延収益 9億 396万円
現金預金、未収金、貯蔵品など流動資産 7億 118万円	資本金 1億1,018万円
	国庫補助金など資本剰余金 17億7,774万円
	欠損金 62億6,831万円
合計 35億7,608万円	合計 35億7,608万円

水道

3億8,367万円の黒字

配水池築造工事などに10億3,227万円

問合せ 上下水道局経営企画課 ☎(740)1261

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表3の通り。総収益（収入）が34億8,512万円、総費用（支出）が31億145万円で、差し引き3億8,367万円の純利益となり、前年度からの繰越利益剰余金14億5,659万円を合わせると、未処分利益剰余金は18億4,025万円となりました。このうち4億2,000万円を建設改良積立金として積み立てた結果、翌年度繰越利益剰余金は14億2,025万円となりました。

資本的収支（水道施設の建設改良などの経費とその財源）は、資本的収入が4億9,514万円、資本的支出が11億2,549

万円でした。また、4条非課税売上に対応する課税仕入分42万円を控除後の不足額は6億3,077万円となり、過年度分損益勘定留保資金（現金支出を伴わない減価償却費などで内部に留保された資金）で補てんしました。財政状態は表4の通り。

29年3月31日現在の給水人口は15万8,993人、一日平均の配水量は4万3,197立方メートルです。また、年間有収水量（収益となった水量）は約1,506万立方メートルで、有収率は95.5%となりました。

安全な水の安定供給を図るため、改良・5期拡張工事に取り組み、水質管理の充実に努めました。改良工事では、配水池の改修工事、配水管の改良・敷設替工事などを6億6,346万円を実施。5期拡張工事では、配水池築造工事、配水管布設工事などを3億6,881万円を実施しました。

今後も、主要基幹施設や老朽化した管の更新、また、耐震化対策などに取り組むとともに、経営の効率化や経費の削減により健全経営に努めるなど、市民の皆さんから信頼される水道をめざします。

表3 28年度水道事業損益計算書

(28年4月1日～29年3月31日)

支 出		収 入	
受 水 費	11億6,574万円	水 道 料 金	28億8,158万円
減 価 償 却 費	5億2,072万円	分 担 金	1億3,248万円
人 件 費	3億7,164万円	長 期 前 受 金 戻 入	1億7,396万円
修 繕 費	3億2,777万円	特 別 利 益	1億1,805万円
委 託 料	3億 574万円	そ の 他 の 収 入	1億7,905万円
動 力 ・ 薬 品 費	4,943万円	小 計	34億8,512万円
支 払 利 息	4,295万円	小 計	34億8,512万円
そ の 他 の 支 出	3億1,746万円	当 年 度 純 損 失	—
小 計	31億 145万円	合 計	34億8,512万円
当 年 度 純 利 益	3億8,367万円	合 計	34億8,512万円
合 計	34億8,512万円	合 計	34億8,512万円

※修繕費には材料費・路面復旧費を含みます

表4 28年度水道事業貸借対照表

(29年3月31日現在)

借 方	貸 方
土地、建物、構築物、ダム使用権、投資など固定資産 197億5,341万円	固定負債 24億2,144万円
	未払金、預り金など流動負債 5億8,339万円
	繰延収益 41億3,392万円
現金預金、未収金など流動資産 43億3,933万円	資本金 54億5,038万円
	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 90億6,436万円
	利益積立金 3億4,900万円
	建設改良積立金 2億5,000万円
	当年度未処分利益剰余金 18億4,025万円
合計 240億9,274万円	合計 240億9,274万円

下水道

6億5,691万円の黒字

管渠やポンプ場の整備などに7億9,844万円

問合せ 上下水道局経営企画課 ☎(740)1261

収益的収支（事業活動のための経費とその財源）は表5の通り。総収益（収入）が37億4,011万円、総費用（支出）が30億8,320万円で、差し引き6億5,691万円の純利益となり、前年度からの繰越利益剰余金9億1,170万円とその他未処分利益剰余金変動額2億8,279万円を合わせると、未処分利益剰余金は18億5,140万円となりました。このうち2億8,279万円を資本金に組み入れ、6億8,347万円を減債積立金として積み立てた結果、翌年度繰越利益剰余金は8億8,514万円となりました。

資本的収支（企業債償還金や下水道施設の建設改良などの経費とその財源）は、資本的収入が13億7,456万円、資本的支出が23億6,015万円でした。また、不課税収入（国庫補助金、他会計補助金など）の特定分など2,608万円を控除後の不足額は10億1,167万円となり、当年度分損益勘定留保資金（現金支出を伴わない減価償却費などで内部に留保された資金）などで補てんしました。財政状態は表6の通り。

29年3月31日現在の供用開始区域内人口は15万8,719人、年間有収水量（収益となった水量）は約1,504万立方メートルとなりました。

都市の健全な発達と公衆衛生の向上のため、建設改良事業に取り組み、公共用水域の水質保全に努めました。同事業では、管渠（家庭などから出たトイレや生活雑排水など汚水・雨水を流す下水道管）の整備や雨水ポンプの設備更新などを7億9,844万円を実施しました。

今後も、安全で快適な暮らしを支えるため、管渠やポンプ設備の長寿命化に取り組むとともに、経営の効率化を図るなど、持続的で安定的な事業運営に努めます。

表5 28年度下水道事業損益計算書

(28年4月1日～29年3月31日)

支 出		収 入	
減 価 償 却 費	17億9,900万円	下 水 道 使 用 料	17億5,344万円
負 担 金	5億6,234万円	長 期 前 受 金 戻 入	10億4,784万円
支 払 利 息	2億8,622万円	他会計負担金 および補助金	9億2,942万円
人 件 費	1億7,497万円	そ の 他 の 収 入	941万円
修 繕 費	1億 836万円	小 計	37億4,011万円
委 託 料	1億 376万円	小 計	37億4,011万円
そ の 他 の 支 出	4,855万円	当 年 度 純 損 失	—
小 計	30億8,320万円	合 計	37億4,011万円
当 年 度 純 利 益	6億5,691万円	合 計	37億4,011万円
合 計	37億4,011万円	合 計	37億4,011万円

※修繕費には材料費を含みます

表6 28年度下水道事業貸借対照表

(29年3月31日現在)

借 方	貸 方
土地、建物、構築物、機械および装置、施設 利用権など固定資産 403億9,123万円	固定負債 132億9,727万円
	未払金、預り金など流動負債 17億7,028万円
	繰延収益 198億2,704万円
現金預金、未収金など流動資産 29億1,383万円	資本金 49億 581万円
	受贈財産評価額、国庫補助金など資本剰余金 9億5,325万円
	減債積立金 7億円
	当年度未処分利益剰余金 18億5,141万円
合計 433億 506万円	合計 433億 506万円

